

# 令和3年社会生活基本調査

## 生活時間及び生活行動に関する結果 長崎県分概要

令和3年社会生活基本調査 生活時間及び生活行動に関する結果が令和4年8月31日に総務省から公表されました。

その中から、本県に係る集計結果を下記のとおりとりまとめましたので、お知らせします。

総務省の詳細な結果は、下記URL（総務省ホームページ（調査の結果））を参照ください。

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/pdf/youyakua.pdf>

### 記

#### 《本県の概要》

##### 1 日の生活時間の配分

##### 1 . 1 日の生活時間の配分

本県の休養・くつろぎの時間は1時間59分と、5年前に比べ15分の増加、移動（通勤・通学を除く）の時間は19分と7分の減少、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が2時間17分と13分の減少

##### 2 . 家事関連時間

6歳未満の子供を持つ世帯の夫の家事時間は17分と5年前に比べ6分増加、育児時間は56分と15分増加。男女差は縮小しているが依然として一定時間存在

##### 1 年間の主な生活行動

##### 1 . 学習・自己啓発・訓練

・「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は31.2%で、5年前より1.2ポイント上昇  
・男性は「パソコンなどの情報処理」の行動者率は11.9%、女性は「家事・家政」の行動者率は14.9%で最も高い割合

##### 2 . ボランティア活動

「ボランティア活動」の行動者率は21.0%で、5年前より6.7ポイントの低下

##### 3 . スポーツ

「ウォーキング・軽い体操」及び「サッカー」は行動者率が5年前より上昇した一方、「ボウリング」及び「水泳」を始めとしたほとんどのスポーツで低下

##### 4 . 趣味・娯楽

「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」などは行動者率が5年前より上昇した一方、「カラオケ」及び「遊園地、動植物園、水族館などの見物」の行動者率は大幅な低下

##### 5 . 旅行・行楽

「旅行・行楽」の行動者率は36.1%で、5年前から26.1ポイントの大幅な低下

社会生活基本調査は、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している基幹統計調査。

「家事関連時間」の項目については2006年以前の都道府県毎の集計結果がないため、2011年以降のみの集計結果を作成。

## 1日の生活時間の配分

1日の生活時間の配分は、2021年10月16日から24日までのうち調査区ごとに指定された連続する2日間（生活時間の指定日）について調査した結果で、調査票にあらかじめ記載された20種類の行動分類による1人1日当たり時間数などを集計したものの。

### 1. 1日の生活時間の配分

本県の休養・くつろぎの時間は1時間59分と、5年前に比べ15分の増加、移動（通勤・通学を除く）の時間は19分と7分の減少、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が2時間17分と13分の減少

表1 男女、行動の種類別生活時間（2016年、2021年） - 週全体、長崎県

（時間・分）

	総数			男			女		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
<b>1次活動</b>	10.35	10.55	0.20	10.29	10.56	0.27	10.40	10.53	0.13
睡眠	7.38	7.52	0.14	7.47	8.02	0.15	7.31	7.42	0.11
身の回りの用事	1.19	1.23	0.04	1.08	1.16	0.08	1.29	1.30	0.01
食事	1.37	1.39	0.02	1.34	1.38	0.04	1.39	1.41	0.02
<b>2次活動</b>	6.49	6.52	0.03	6.36	6.32	-0.04	7.00	7.10	0.10
仕事等	4.44	4.38	-0.06	5.56	5.44	-0.12	3.41	3.42	0.01
通勤・通学	0.27	0.26	-0.01	0.34	0.33	-0.01	0.21	0.21	0.00
仕事	3.33	3.32	-0.01	4.35	4.29	-0.06	2.38	2.42	0.04
学業	0.44	0.40	-0.04	0.47	0.42	-0.05	0.42	0.39	-0.03
家事関連	2.04	2.13	0.09	0.39	0.49	0.10	3.19	3.29	0.10
家事	1.23	1.33	0.10	0.16	0.23	0.07	2.21	2.35	0.14
介護・看護	0.05	0.04	-0.01	0.03	0.03	0.00	0.08	0.05	-0.03
育児	0.12	0.12	0.00	0.05	0.06	0.01	0.18	0.18	0.00
買い物	0.24	0.24	0.00	0.15	0.17	0.02	0.32	0.31	-0.01
<b>3次活動</b>	6.37	6.13	-0.24	6.55	6.32	-0.23	6.20	5.57	-0.23
移動(通勤・通学を除く)	0.26	0.19	-0.07	0.23	0.19	-0.04	0.29	0.19	-0.10
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.30	2.17	-0.13	2.36	2.24	-0.12	2.24	2.11	-0.13
休養・くつろぎ	1.44	1.59	0.15	1.50	1.59	0.09	1.39	1.59	0.20
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.10	0.09	-0.01	0.08	0.08	0.00	0.12	0.10	-0.02
趣味・娯楽	0.44	0.43	-0.01	0.54	0.54	0.00	0.35	0.33	-0.02
スポーツ	0.14	0.12	-0.02	0.18	0.15	-0.03	0.11	0.10	-0.01
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.03	-0.02	0.06	0.04	-0.02	0.04	0.02	-0.02
交際・付き合い	0.15	0.08	-0.07	0.15	0.07	-0.08	0.16	0.10	-0.06
受診・療養	0.09	0.07	-0.02	0.07	0.07	0.00	0.11	0.06	-0.05
その他	0.18	0.16	-0.02	0.18	0.14	-0.04	0.19	0.17	-0.02

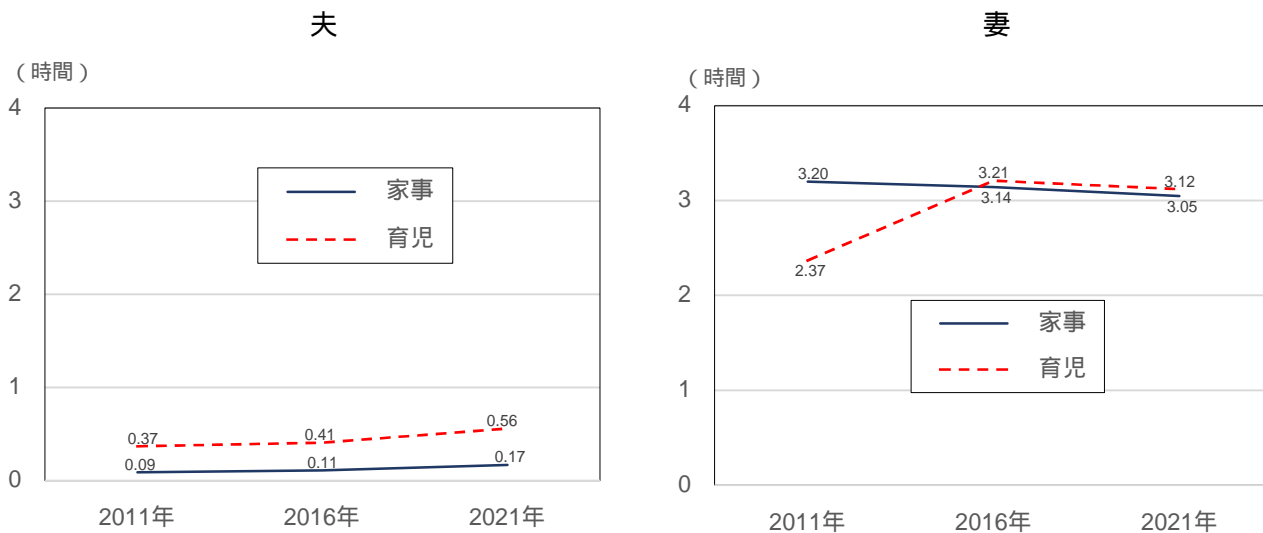
## 2. 家事関連時間

6歳未満の子供を持つ世帯の夫の家事時間は17分と、5年前に比べ6分増加、育児時間は56分と15分増加。男女差は縮小しているが依然として一定時間存在

表2 6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の推移（2011年～2021年）－週全体，夫婦と子供の世帯  
(時間・分)

	6歳未満の子供を持つ夫			6歳未満の子供を持つ妻		
	2011年	2016年	2021年	2011年	2016年	2021年
家事関連	1.02	1.13	1.25	6.41	7.06	6.53
家事	0.09	0.11	0.17	3.20	3.14	3.05
介護・看護	0.02	0.00	0.01	0.02	0.02	0.08
育児	0.37	0.41	0.56	2.37	3.21	3.12
買い物	0.14	0.21	0.11	0.42	0.29	0.28

図1 6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事時間及び育児時間の推移（2011年～2021年）



注) 2006年以前の都道府県毎の集計結果がないため、2011年以降の集計結果で作成した。

## 1年間の主な生活行動

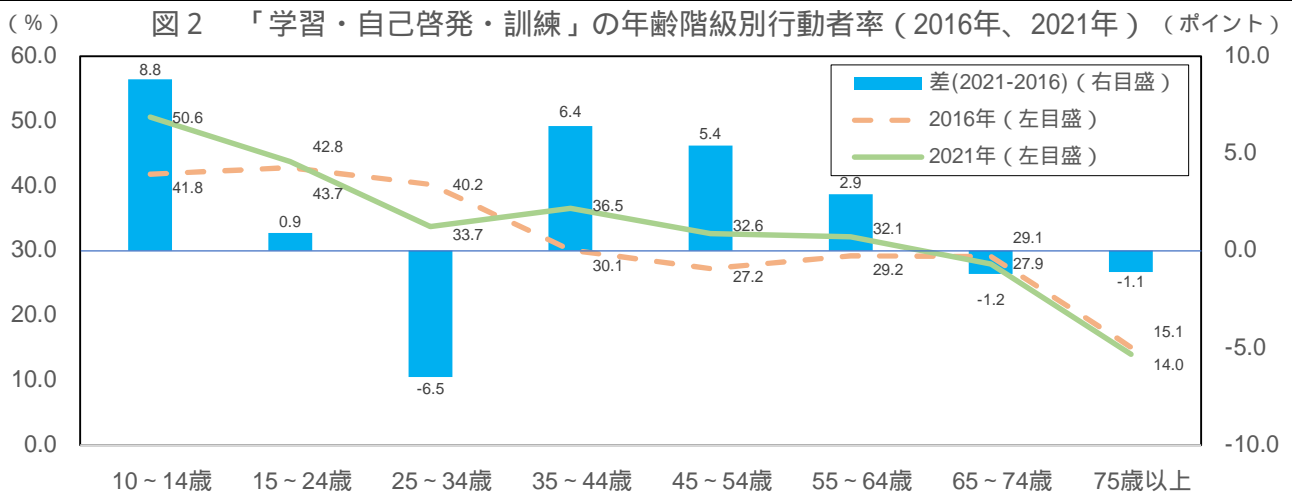
1年間の主な生活行動（「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」、「旅行・行楽」）は、2020年10月20日から2021年10月19日までの過去1年間の自由時間において該当する活動を行った状況について集計したもの。

行動者数：過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数

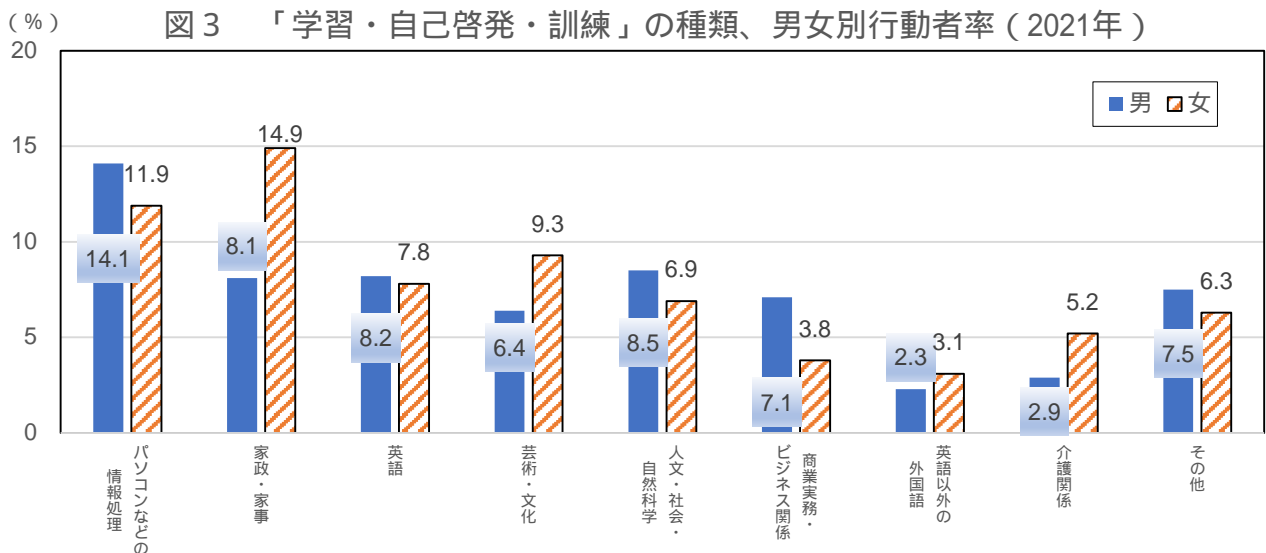
行動者率：10歳以上人口に占める行動者数の割合（％）

### 1. 学習・自己啓発・訓練

「学習・自己啓発・訓練」<sup>1)</sup>の行動者率<sup>2)</sup>は31.2%で、5年前より1.2ポイント上昇



男性は「パソコンなどの情報処理」の行動者率が最も高く、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い



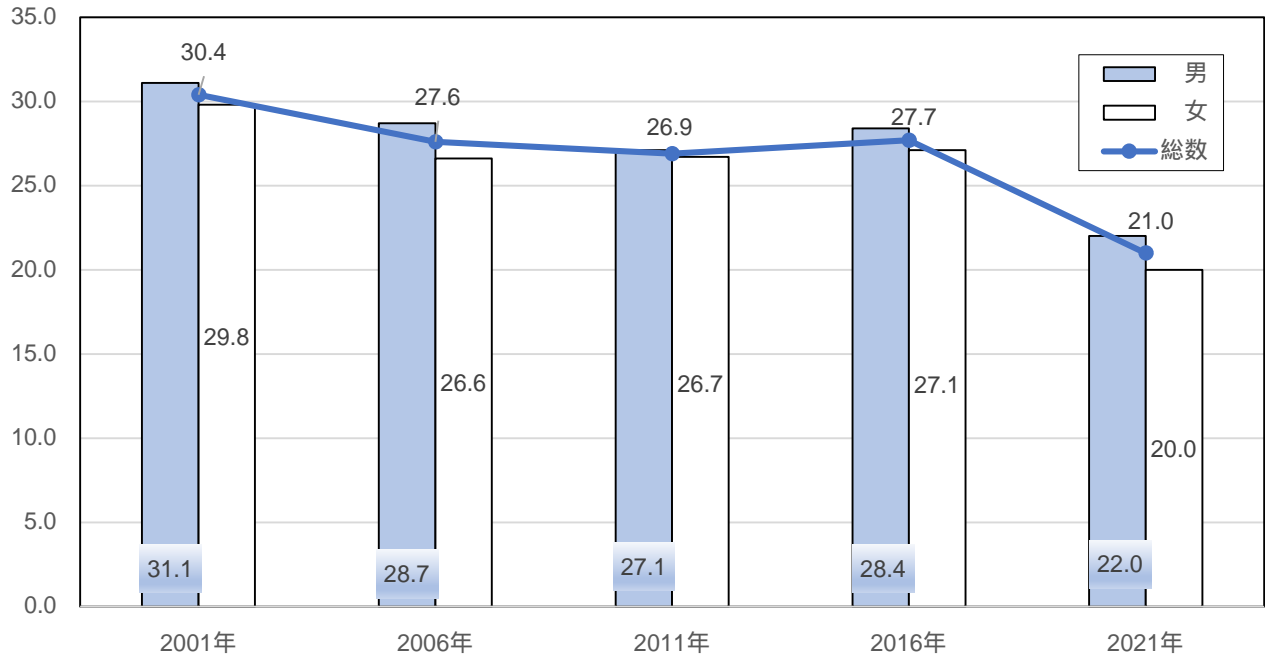
1) 「学習・自己啓発・訓練」は、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

2) 10歳以上人口に占める過去1年間（2020年10月20日～2021年10月19日）に該当する種類の活動を行った人の割合。

## 2. ボランティア活動

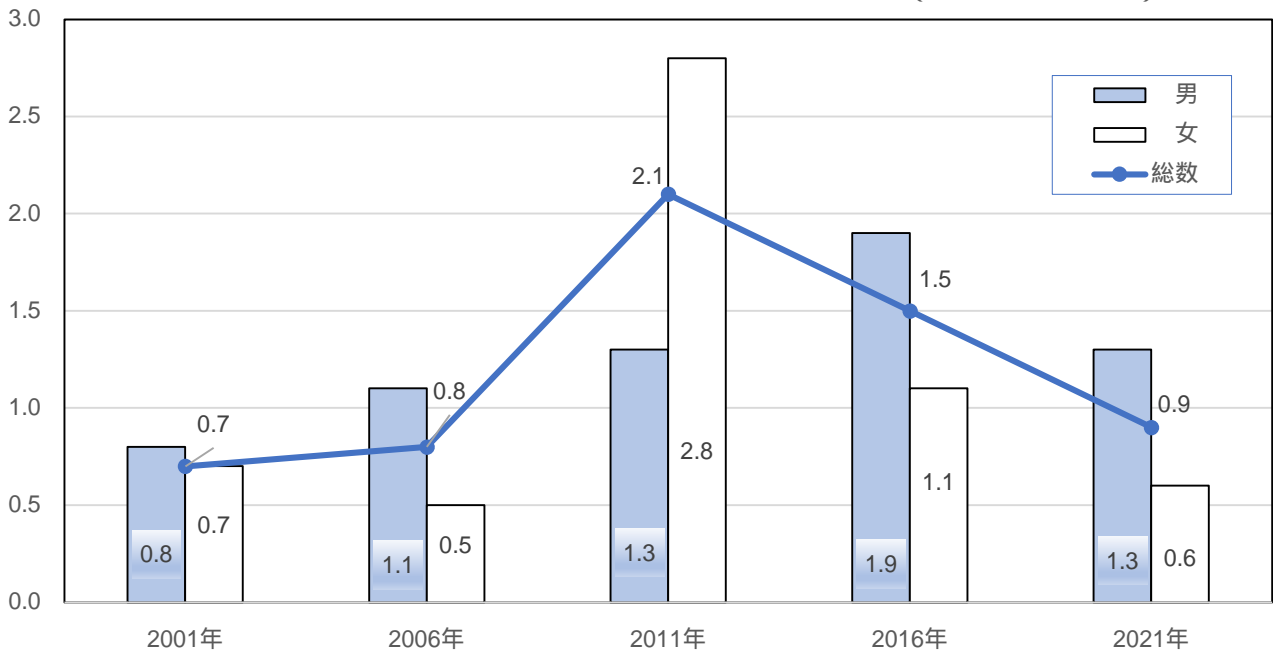
「ボランティア活動」の行動者率は21.0%で、5年前より6.7ポイントの低下

図4 「ボランティア活動」の男女別行動者率の推移（2001年～2021年）



「災害に関係した活動」の行動者率は0.9%で、5年前より0.6ポイントの低下

図5 「災害に関係した活動」の男女別行動者率の推移（2001年～2021年）



### 3. スポーツ

「ウォーキング・軽い体操」及び「サッカー」は行動者率が5年前より上昇した一方、「ボウリング」及び「水泳」を始めとしたほとんどのスポーツで低下

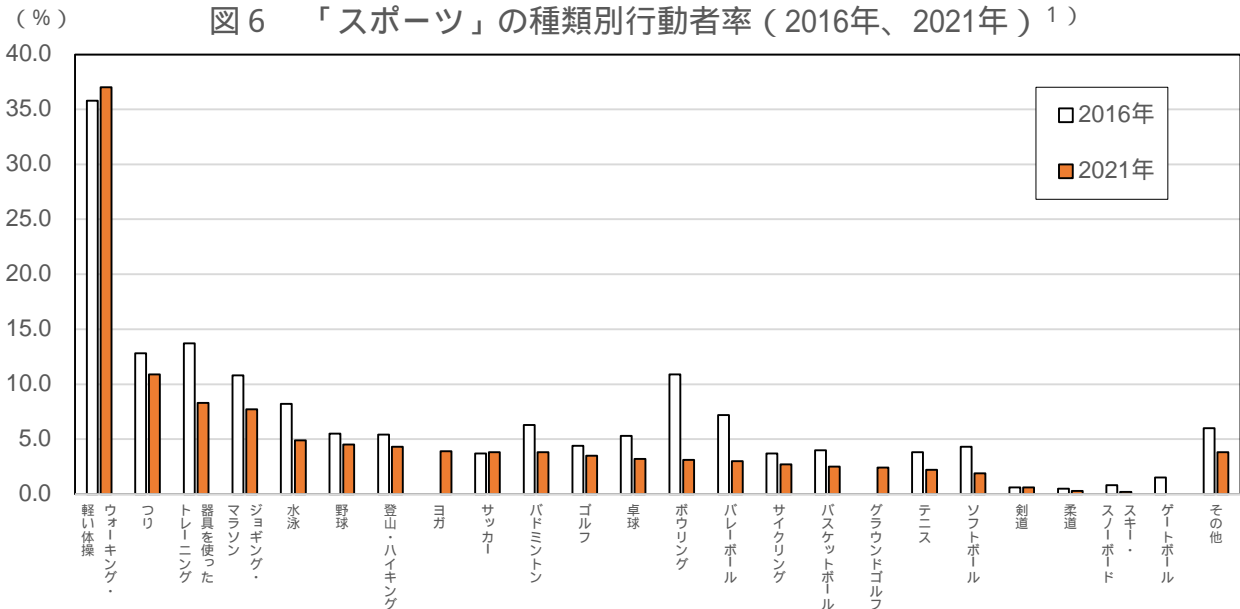


表3 「スポーツ」の種類別行動者率（2016年、2021年）

	2016年 (%)	2021年 (%)	増減 (ポイント)
総数	64.5	57.8	-6.7
ウォーキング・軽い体操	35.8	37.0	1.2
つり	12.8	10.9	-1.9
器具を使ったトレーニング	13.7	8.3	-5.4
ジョギング・マラソン	10.8	7.7	-3.1
水泳	8.2	4.9	-3.3
野球	5.5	4.5	-1.0
登山・ハイキング	5.4	4.3	-1.1
ヨガ	3.7	3.9	0.2
サッカー	3.7	3.8	0.1
バドミントン	6.3	3.8	-2.5
ゴルフ	4.4	3.5	-0.9
卓球	5.3	3.2	-2.1
ボウリング	10.9	3.1	-7.8
バレーボール	7.2	3.0	-4.2
サイクリング	3.7	2.7	-1.0
バスケットボール	4.0	2.5	-1.5
グラウンドゴルフ	2.4	2.4	0.0
テニス	3.8	2.2	-1.6
ソフトボール	4.3	1.9	-2.4
剣道	0.6	0.6	0.0
柔道	0.5	0.3	-0.2
スキー・スノーボード	0.8	0.2	-0.6
ゲートボール	1.5	1.5	0.0
その他	6.0	3.8	-2.2

1) 「ヨガ」、「グラウンドゴルフ」は2021年に固定項目に追加

#### 4. 趣味・娯楽

「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」などは行動者率が5年前より上昇した一方、「カラオケ」及び「遊園地、動植物園、水族館などの見物」の行動者率は大幅な低下

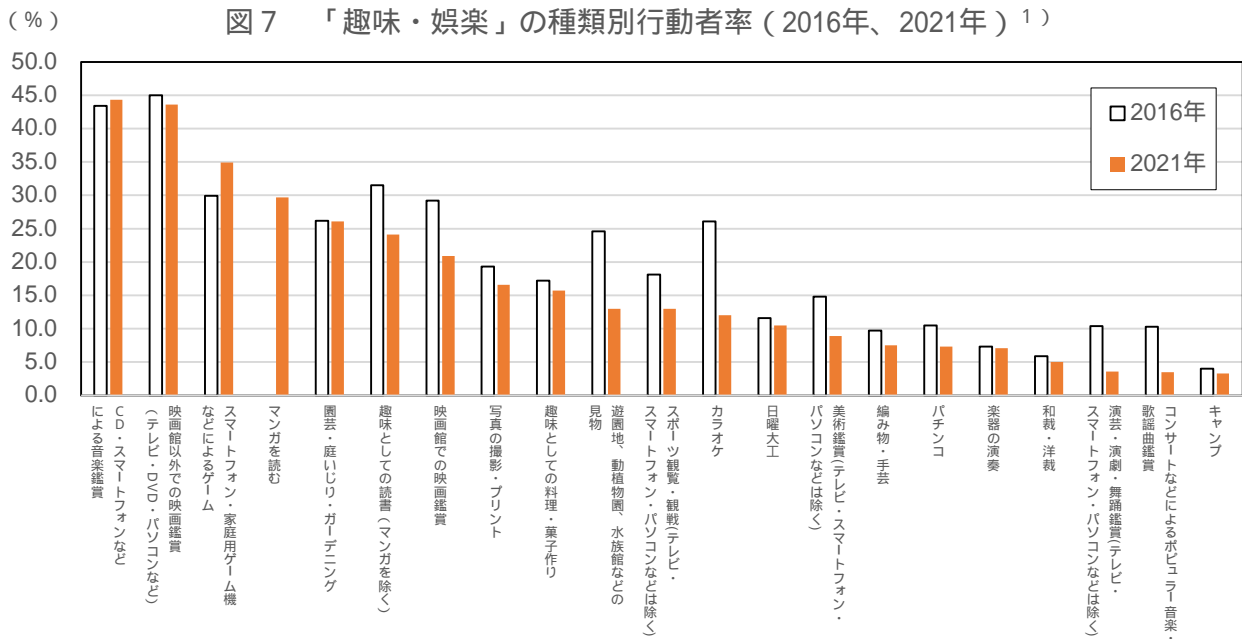


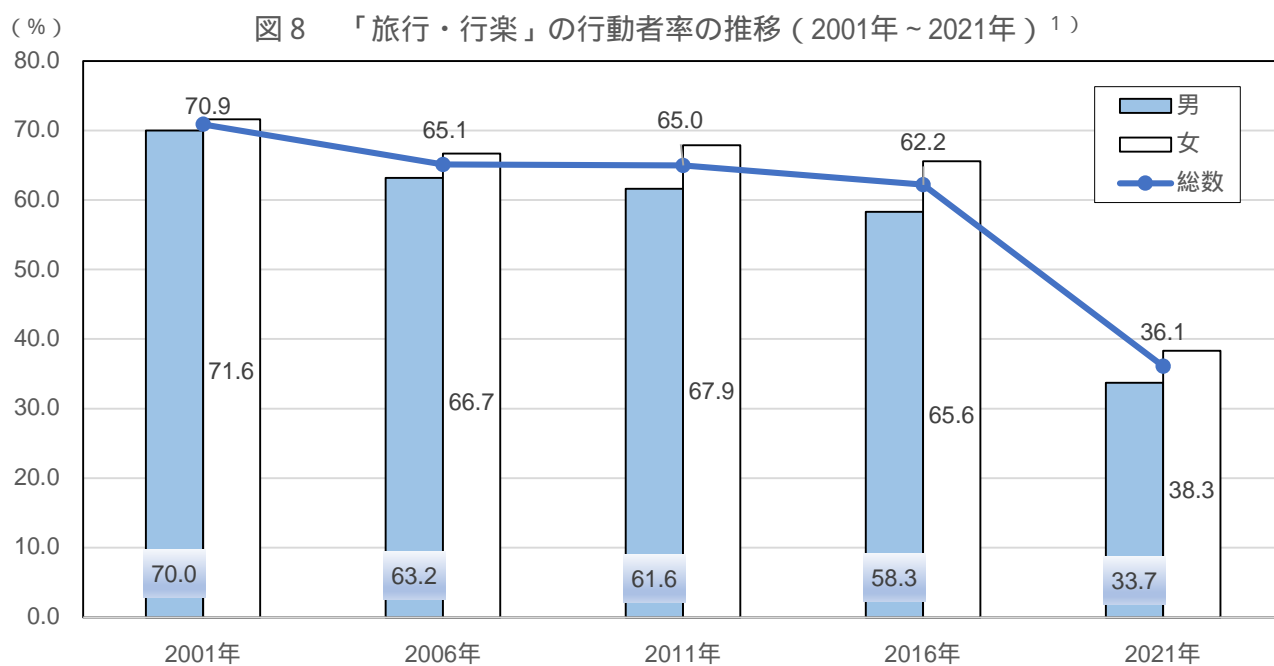
表7 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（2016年、2021年）

	2016年 (%)	2021年 (%)	増減 (ポイント)
C D・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	43.4	44.3	0.9
映画館以外での映画鑑賞 (テレビ・DVD・パソコンなど)	45.0	43.6	-1.4
スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	29.9	34.9	5.0
マンガを読む	...	29.7	...
園芸・庭いじり・ガーデニング	26.2	26.1	-0.1
趣味としての読書 (マンガを除く)	31.5	24.1	-7.4
映画館での映画鑑賞	29.2	20.9	-8.3
写真の撮影・プリント	19.3	16.6	-2.7
趣味としての料理・菓子作り	17.2	15.7	-1.5
遊園地、動植物園、水族館などの見物	24.6	13.0	-11.6
スポーツ観覧・観戦 (テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	18.1	13.0	-5.1
カラオケ	26.1	12.0	-14.1
日曜大工	11.6	10.5	-1.1
美術鑑賞 (テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	14.8	8.9	-5.9
編み物・手芸	9.7	7.5	-2.2
パチンコ	10.5	7.3	-3.2
楽器の演奏	7.3	7.1	-0.2
和裁・洋裁	5.9	5.0	-0.9
演芸・演劇・舞踊鑑賞 (テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	10.4	3.6	-6.8
コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	10.3	3.5	-6.8
キャンプ	4.0	3.3	-0.7

1) 「趣味としての読書 (マンガを除く)」は、2016年は「趣味としての読書」としてマンガを含めて把握しており、マンガを除いている。2021年は定義の変更があるため比較には注意を要する。また、「マンガを読む」を2021年に固定項目に追加している。

## 5. 旅行・行楽

「旅行・行楽」の行動者率は36.1%で、5年前から26.1ポイントの大幅な低下



1) 2001～2011年は「旅行・行楽」に「業務出張・研修・その他」を含めて調査しており、比較には注意を要する。



# 令和 3 年社会生活基本調査の概要

## 社会生活基本調査の目的

社会生活基本調査は、1日の生活時間の配分及び1年間の自由時間における主な生活行動（「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」）について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的とするものである。

この調査は、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、今回の調査は10回目に当たる。

なお、平成13年調査からは、生活時間についての詳細な結果を得るために、「調査票A」及び「調査票B」の2種類の調査票を用いて調査している。

## 調査の法的根拠

社会生活基本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計「社会生活基本統計」を作成するための統計調査（基幹統計調査）として、「社会生活基本調査規則」（昭和56年総理府令第38号）に基づいて実施した。

## 調査の範囲

### (1) 調査の地域

平成27年国勢調査の調査区のうち、総務大臣の指定する約7,600調査区において調査を行い、長崎県では132調査区（13市7町）において調査を行った。

### (2) 調査の対象

指定調査区の中から選定した約9万1千世帯に居住する、10歳以上の世帯員約19万人を対象とした。このうち、今回の公表に係る集計対象は「調査票A」について回答した約18万人で、長崎県内では約1,400世帯に居住する、10歳以上の世帯員約3,100人を対象とした。

ただし、次の者は調査の対象から除いた。

ア 外国の外交団、領事団（随員やその家族を含む。）

イ 外国軍隊の軍人、軍属とその家族

ウ 自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者

エ 矯正施設（刑務所、少年刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院）の被収容者

オ 社会福祉施設に入所している人

カ 病院、療養所などに入院している人

キ 水上に住居のある人

## 調査の期日

調査は、令和3年10月20日現在で行った。

ただし、生活時間については、10月16日から10月24日までの9日間のうち、調査区ごとに指定した連続する2日間について調査した。

## 調査事項

以下の事項を調査した。

ただし、調査票Bについては、(3)のオ～ケ並びに(4)のオ及びコの事項を除く。

- (1) 全ての世帯員に関する事項
  - ア 世帯主との続柄
  - イ 出生の年月又は年齢
  - ウ 在学、卒業等教育又は保育の状況
- (2) 10歳未満の世帯員に関する事項
  - 育児支援の利用の状況
- (3) 10歳以上の世帯員に関する事項
  - ア 氏名
  - イ 男女の別
  - ウ 配偶の関係
  - エ ふだんの健康状態
  - オ 学習・研究活動の状況
  - カ ボランティア活動の状況
  - キ スポーツ活動の状況
  - ク 趣味・娯楽活動の状況
  - ケ 旅行・行楽の状況
  - コ 生活時間配分
- (4) 15歳以上の世帯員に関する事項
  - ア 慢性的な病気及び長期的な健康問題の状態
  - イ 日常生活への支障の程度
  - ウ 介護の状況
  - エ 就業状態
  - オ 就業希望の状況
  - カ 従業上の地位
  - キ 勤務形態
  - ク 年次有給休暇の取得日数
  - ケ 仕事の種類
  - コ 所属の企業全体の従業者数
  - サ ふだんの1週間の就業時間
  - シ 希望する1週間の就業時間
  - ス 仕事からの年間収入
- (5) 世帯に関する事項
  - ア 世帯の種類
  - イ 10歳以上の世帯員数
  - ウ 10歳未満の世帯員数
  - エ 世帯の年間収入
  - オ 不在者の有無

## 統計データの引用について

「令和3年社会生活基本調査結果」「平成28年社会生活基本調査結果」「平成23年社会生活基本調査結果」「平成18年社会生活基本調査結果」「平成11年社会生活基本調査結果」(総務省統計局) (<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200533>) を加工して作成 e-Stat の数字を用いており、総務省公表資料と数字に差異がある場合があります。

## 利用上の注意

1. 統計表の数字は、表章単位未満の位で四捨五入してあること、また、「総数」に「分類不能」、「不詳」の数を含むことから、「総数」と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。
2. 統計表中の「0」、「0.0」、「0.00」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。
3. 統計表中の「-」は、該当の行動者が皆無の場合及び当該属性のサンプルサイズが皆無の場合のため省略している箇所である。
4. (1) 統計表中の「…」は、サンプルサイズが10未満で、結果精度の観点から表章していない箇所である。ただし、一部の統計表については、下記分類事項の「総数」のサンプルサイズが10未満の場合、その内訳を「-」と表示している。
  - 行動の種類(2) 時系列統計表中の「…」は、調査あるいは集計していない箇所である。
5. 生活時間に関する結果の平日及び週全体の総平均時間及び行動者平均時間は各曜日別の平均時間から算出しているため、下記の場合は「-」と表示している。
  - 月曜日～金曜日までの当該属性標本が全てない場合の「平日」の総平均時間及び行動者平均時間
  - 平日、土曜日及び日曜日のうち、1つでも総平均時間が「-」で表示される場合、その属性をもった週全体の総平均時間
  - 月曜日～日曜日までの当該属性標本が全てない場合、週全体の行動者平均時間
6. 本資料は集計結果の項目は、総務省公表資料の比較に合わせており、「2016年(5年前)との比較」または「2001年～2021年の比較」または「2021年のみ」の比較」で掲載している。

総務省公表資料の比較は以下のとおり(カッコ内図表番号は総務省公表資料の番号)

1. 1日の生活時間の配分.....2016年との比較(表1)
2. 6歳未満の子供を持つ世帯の家事関連時間...2001年～2021年の比較(表2、図1)
3. 学習・自己啓発・訓練.....2016年との比較(図3)、  
2021年のみ(図4)
4. ボランティア活動.....2001年～2021年の比較(図5)、  
2021年のみ(図6)
5. スポーツ.....2016年との比較(図7、表5)
6. 趣味・娯楽.....2016年との比較(図8、表6)
7. 旅行・行楽.....2001年～2021年の比較(図9)

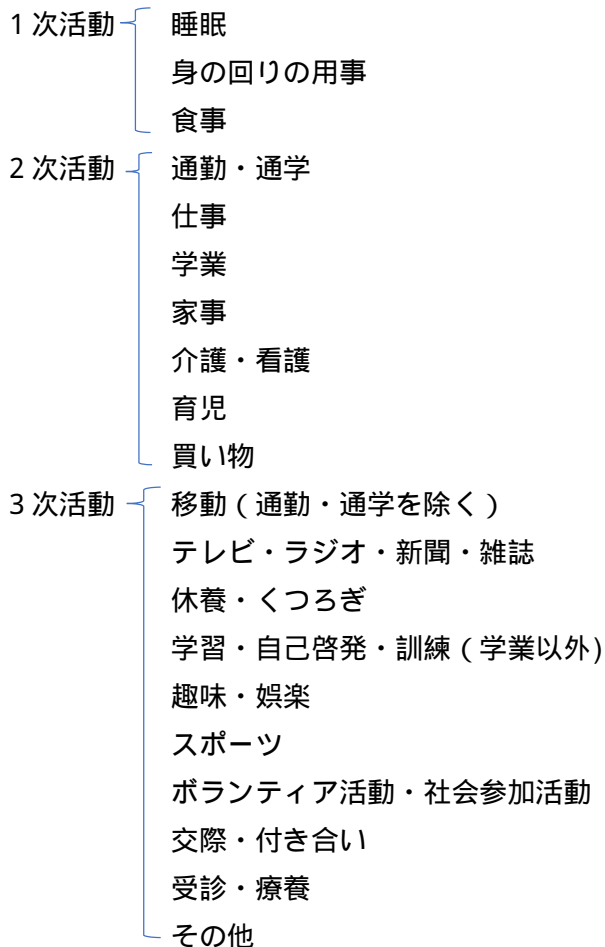
ただし、2.の6歳未満の子供を持つ世帯の家事関連時間については、2006年以前の都道府県毎の集計結果がないため、過去3回分の比較である2011年以降の集計結果で掲載している

# 用語と分類

## . 生活時間関係

### 1 行動の種類

1日の行動を20種類に分類し、時間帯（15分単位）別の行動状況（同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの一つ）を調査した。20種類の行動は大きく三つの活動にまとめ、1次活動（睡眠、食事など生理的に必要な活動）、2次活動（仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動）及び3次活動（1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動）とした。



### 2 平均時間

行動の種類別平均時間は、一人1日当たりの平均行動時間数で、次の種類がある。

- ・総平均.....該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均
- ・行動者平均.....該当する種類の行動をした人のみについての平均
- ・曜日別平均.....調査の曜日ごとに平均値を算出したもの。平日平均（月曜日～金曜日の平均値）、月曜日～日曜日平均がある。
- ・週全体平均.....次の式により曜日別結果を平均して算出した。

$$\frac{\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均}}{7}$$

ただし、ある曜日に当該属性を持つ客体が存在しない場合は以下のとおり算出した。

- ・週全体の総平均時間

$$\frac{5 \times \text{平日平均} + \text{土曜日平均} + \text{日曜日平均}}{7}$$

- ・週全体の行動者平均時間

$$\frac{(\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均}) *}{\text{月曜日} \sim \text{日曜日} \text{の当該行動者のいる曜日数}}$$

\*：当該行動者のいる曜日のみ。

## 生活行動関係

### 1 過去1年間に行った活動

この調査では、自由時間における「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」について、過去1年間の活動状況をそれぞれの種類別に「行ったか否か」、また、行った場合には、1年間の活動の「頻度」や「目的」、「方法」、「共にした人」などを調査した。

#### (1) 学習・自己啓発・訓練

個人の自由時間の中で行う学習、自己啓発や訓練をいう。社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。「学習・自己啓発・訓練」については、その内容を次の9種類に分類し調査した。

- ・英語
- ・英語以外の外国語
- ・パソコンなどの情報処理
- ・商業実務・ビジネス関係
- ・介護関係
- ・家政・家事（料理・裁縫・家庭経営など）
- ・人文・社会・自然科学（歴史・経済・数学・生物など）
- ・芸術・文化
- ・その他

#### (2) ボランティア活動

報酬を目的としないで、自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉増進のために行っている活動をいう。「ボランティア活動」については、対象や目的を次の11種類に分類し調査した。

- ・健康や医療サービスに関係した活動（献血、入院患者の話し相手、安全な食品を広めることなど）
- ・高齢者を対象とした活動（高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど）
- ・障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など）
- ・子供を対象とした活動（子供会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝いなど）

- ・スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動（スポーツを教えること、日本古来の文化を広めること、美術館ガイド、講演会・シンポジウム等の開催など）
- ・まちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、花いっぱい運動、まちおこしなど）
- ・安全な生活のための活動（防災活動、防犯活動、交通安全運動など）
- ・自然や環境を守るための活動（野鳥の観察と保護、森林や緑を守る活動、リサイクル運動、ゴミを減らす活動など）
- ・災害に関係した活動（災害を受けた人に食べものや着るものを送ること、炊き出しなど）
- ・国際協力に関係した活動（海外支援協力、難民支援、日本にいる外国人への支援活動など）
- ・その他（人権を守るための活動、平和のための活動など）

### (3) スポーツ

個人の自由時間の中で行う「スポーツ」をいう。なお、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。「スポーツ」については、次の23種類に分類し調査した。

- ・野球（キャッチボールを含む）
- ・ソフトボール
- ・バレーボール
- ・バスケットボール
- ・サッカー（フットサルを含む）
- ・卓球
- ・テニス
- ・バドミントン
- ・ゴルフ（練習場を含む）
- ・グラウンドゴルフ
- ・柔道
- ・剣道
- ・ボウリング
- ・つり
- ・水泳
- ・スキー・スノーボード
- ・登山・ハイキング
- ・サイクリング
- ・ジョギング・マラソン
- ・ウォーキング・軽い体操
- ・ヨガ
- ・器具を使ったトレーニング
- ・その他のスポーツ

### (4) 趣味・娯楽

仕事、学業、家事などのように義務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものをいう。「趣味・娯楽」については、次の35種類に分類し調査した。

- ・スポーツ観覧・観戦（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）

- ・美術鑑賞（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）
- ・演芸・演劇・舞踊鑑賞（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）
- ・映画館での映画鑑賞
- ・映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）
- ・コンサートなどによるクラシック音楽鑑賞
- ・コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞
- ・CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞
- ・楽器の演奏
- ・邦楽（民謡、日本古来の音楽を含む）
- ・コーラス・声楽
- ・カラオケ
- ・邦舞・おどり
- ・洋舞・社交ダンス
- ・書道
- ・華道
- ・茶道
- ・和裁・洋裁
- ・編み物・手芸
- ・趣味としての料理・菓子作り
- ・園芸・庭いじり・ガーデニング
- ・日曜大工
- ・絵画・彫刻の制作
- ・陶芸・工芸
- ・写真の撮影・プリント
- ・詩・和歌・俳句・小説などの創作
- ・趣味としての読書（マンガを除く）
- ・マンガを読む
- ・囲碁
- ・将棋
- ・パチンコ
- ・スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム
- ・遊園地、動植物園、水族館などの見物
- ・キャンプ
- ・その他の趣味・娯楽

#### (5) 旅行・行楽

旅行は、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を除く。行楽は、日常生活圏を離れて宿泊を伴わず、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りを含む。「旅行・行楽」については、国内・海外及び旅行目的を次の4種類に分類し調査した。

- ・行楽（半日以上の日帰りをいい、夜行日帰りも含む）
- ・国内観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含む）

- ・国内帰省・訪問などの旅行
- ・海外観光旅行（レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含む）

## 2 行動者数、行動者率、平均行動日数

### (1) 行動者数

過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数。なお、数値は母集団における行動者数の推定値である。

### (2) 行動者率

10歳以上人口に占める行動者数の割合。次の式により算出した。

$$\text{行動者率} = \text{行動者} \div \text{各属性の10歳以上人口} \times 100 (\%)$$

### (3) 平均行動日数

行動者について平均した過去1年間の行動日数。各行動の「総数」及び「その他」を除く種類ごとに、頻度別の行動者数に基づき、次の式により算出した（「旅行・行楽」は除く。）。

$$\text{平均行動日数} = \frac{\sum (\text{頻度階級の中央値} \times \text{頻度階級の行動者数})}{\sum \text{頻度階級の行動者数}}$$

なお、各頻度階級の中央値は次の値とした。

頻度階級	中央値
年に 1 ~ 4日	2.5日
年に 5 ~ 9日	7.0日
年に 10 ~ 19日（月に1日）	14.5日
年に 20 ~ 39日（月に2 ~ 3日）	29.5日
年に 40 ~ 99日（週に1日）	69.5日
年に100 ~ 199日（週に2 ~ 3日）	149.5日
年に200日以上（週に4日以上）	282.5日